

KANALOA 号 九州一周航海記（その 1・福岡市小戸～熊本県天草市本渡港）

ーはじめにー

カナロアの購入 1 周年記念パーティー（2012 年 12 月）でのこと。酔っ払いの面々の好き勝手な言動の中で「来年は九州一周」でもとの話の流れから九州一週が決定されました。

カナロアのオーナーならびにメンバーは 10 名、リタイヤ組み 3 名、現役 7 名の構成。で当然のことながらリタイヤ組が航海の中心。パーティーに参加をお願いしていた大原さん（元ジュニアヨットクラブ会長）が全航程参加を表明、さらにナセムの磯さんも途中参加を表明され楽しい航海の予感。時期も天候の安定期と現役組に迷惑がかからないよう 5 月ゴールデンウィーク後と決まりました。

寄港地

- 平戸港
- 池島港
- 野母池港
- 天草ヨットクラブ（本渡）
- 本渡港
- 牛深港
- 平港（上甕）
- 手打港（下甕）
- 笠沙恵比寿（鹿児島）
- 硫黄島
- 屋久島
- 西表港（種子島）
- 油津港（宮崎）
- 蒲江港（大分）
- 宇和島港（愛媛）
- 三崎港
- 姫島



乗員

全航程	3 名（男 2、女 1）	年齢	男 79 歳、61 歳	女性 55 歳
小戸	↔	屋久島	1 名	男 67 歳
笠沙恵比寿	↔	屋久島	1 名	男 54 歳
油津	↔	小戸	1 名	男 69 歳

航海情報ツール

OPENC PN 関連チャート G P V 気象予測 潮流推算
海豹（ジャヌー 38）鈴木氏による港データー

※ 特に鈴木さんの港データーは、ほとんどの寄港地が網羅されしかも詳細な泊地情報まであり、事前調査に手間取ること無く非常に助かりました。

KANALOAデータ

ジャヌー サンチャーム 39ft

仕様諸元

全長	LOA	11.99 m
艇長	LH	11.56 m
水線長	LWL	9.87 m
全幅	Bmax	3.89 m
キール喫水		1.95 m
船体重量		6000 kg
バラストキール重量		2450 kg

2013年5月8日(水曜日)07:50。

天候 晴天
風 北東2〜3
波 1m
目的地 平戸港
距離 45.8NM

いざ出航！！

その前に記念撮影。レディーはそう簡単にお出ましにはなりません。

3m前後の真後ろ方向、東の風とうねりに、右に左にと進路をとり、セールを出したり仕舞ったりの機帆走で平戸港に15時到着。いつもの浮き桟橋へ係留。

平戸は3度目なのでこれといって感慨はなく、買い出しや散歩の自由行動。お風呂はいつもの海上ホテル、缶ビールを持ち込み、海を眺めながらの一杯。風呂上り、脱衣所に小さな飲酒禁止の張り紙が！「この前は無かったよなァ」と笑い飛ばして気にしない面々でした。夕食は3名がKANALOAで手巻き鮓、一人だけは姿をくらし飲み屋街へ。

明日は計画では池島泊まりなのですが、天候の崩れが早まっているようなので5時起床とし早めに就寝。

平戸の泊地情報等は皆さんハウステンボスレースなどでご存知なので割愛させていただきます。



2013年5月 9 日(木曜日)05:50。

天候	晴天
風	南 1
波	0m
目的地	野母崎
距離	56.8NM
(池島)	20.9NM

平戸を出航。
赤い平戸大橋をくぐって！…。KANALOA未知の領
域へ！

計画では今日は池島泊、しかし思ったより天気の崩れが早く、10日早朝より大時化の予報、池島泊を諦め今日中に野母崎港に入港と決め早朝出航。

平戸出航後、漁船や巡視艇や作業船が行き交い、飛び魚も飛び交う中、全く風の無い中での機走、あまりのつまらなさと時間的余裕から池島上陸を思い立ち決行。

と言う事で、池島(九州最後の炭坑)に寄港しました。沖合いでフェリーが池島に向い入港、そして出航を見届けKANALOA入港。堂々とフェリー棧橋へ着岸。フェリーのいぬ間、1時間半の島内探検です。平田、レディーは徒歩で、山本は貸し電動自転車(600 円)で島巡り、大原さんは船番です。単に運動不足解消と時間調整のためですが、九州最後の炭坑や8階建てのアパート群や採掘関連機械、トロッコ列車など見て廻りました。

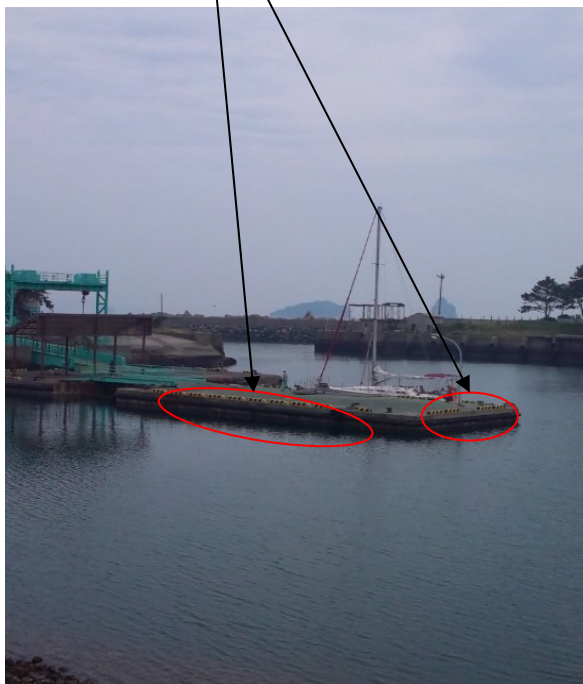


泊地情報(池島)

池島は地図や写真では数箇所着岸できそうですがフェ

リー桟橋以外の着岸はできません。

KANALOAの停泊位置がフェリーの着岸位置です。赤丸のところはフェリーがいても係留できそうなスペースと水深がありました。



桟橋から歩いて5分、この港ショッピングで飲料水、お酒は調達可能です。でも非常食程度の品揃え。若干の雑貨も販売されています。電池などはOK(日曜店休)。また、この売店近くに共同浴場もあり16時より営業(日曜休み)。トイレはフェリー待合所。衆トイレ有(和式)



食料、です。毎日と公

12時30分野母崎に向けて出航。風もなくただ進んで行きます。やがて姿を現すのが軍艦島！近くによればその威圧感！皆じーと見つめるだけです。半周ほどして離れましたが、やはり軍艦です。



軍艦島からやがて野母崎漁港入り口、この方からの写真です。

健康村浮き栈橋

漁港浮き栈橋



15時 30 分野母崎の海の健康村前浮き栈橋に到着。

泊地情報(野母崎)

健康村にこの浮栈への係留をお願いすると、漁協が管理しているとかで漁協への連絡、結果漁協前の浮き栈へ係留するように指示され入浴後移動することになりました。

後日談ですが、健康村浮き栈は軍艦島クルーズ船(アイランド号)のための浮き栈橋で、他地区からのクルーズ船におされ現在はほとんど使われていないようでした。このため黙って泊めていれば何の問題も無いようです。事実、後から入港したヨットはこの浮き栈橋に停泊。最善は漁協前栈橋に係留、お風呂にはヨットで健康村栈橋へというのが最高かも！なにせ漁協前から温泉まで歩いて20から30分近くかかります。ただ、路線バスで行くことも可能です。

食料品は

まるよしストアで生鮮から
コンビニ商品まで購入可能。
特筆に値するのは、浮き棧橋
前の浅市。開店から1～2時
間で売り切れ、鮮度抜群のお
魚で一杯です。特に青物活魚
の締めが素晴らしい。

トイレは目と鼻の先
洋式は病院か健康村まで
水は（船舶用）漁協に言えば
反対側に係留、ホースで可能
なように思います。この浮き
棧橋は漁師が使っており長時
間の係留は無理。

漁協浮き棧橋



さて、早めに着いたので、陽の岬温泉に入浴。18時に野母崎漁協前の浮き棧橋に移動して停泊です。スーパーにめぼしい魚が無かったので、各自で用意したおかずを皆でつつきあいました。

平田、大原は空豆+茹でジャガイモ+おにぎり+味噌汁、山本は昨晚のイカを調理して刺身+ゲソ焼き+みょうが付冷や奴、添田は卵サラダ+玉ねぎスープ+おひたし+松前漬け+パンと言うメニュー。

池島でのウォーキングやサイクリングで適度な運動をしたせいか、深酒もせずに夕食を終え就寝。

2013年5月10日（金曜日）

朝起きると予報どおり、雨と強風。やはり池島に泊まらなくて正解でした。今日はヨットに缶詰かと思いきや、レディーは悪天候もなんのその、長崎に観光へ。居残りの3人は雨が止んだ午後からそれぞれに野母崎の探検へ。収穫は朝市と活魚センターの発見。

夜、コックピットで一杯飲んでいると漁協前の棧橋に人が集まり始め、何かと思いきやペーロンの練習とか、暇をもてあました3人は酒を片手に観戦へ。タイヤを船で引きながら漕いだり、スターンをゴムバンドで固定、バウ担当だけで漕いだりとか、体育系ののりですごい迫力！ レディーは21時ごろ帰艇されました。

2013年5月 11(土曜日)

今日は福岡から仲間が駆けつける予定！

到着後、軍艦島周遊クルーズで迫力ある島を回遊。そして今日のメインイベントの大宴会へ突入。

メニューは

活魚センターで仕入れた伊勢エビ、アジ、赤なまこ。朝市のおばちゃんの本カワハギの肝合え。伊勢エビ、アジは平田、山本が活き造りに。仕上げは伊勢エビの味噌汁。

こーんなにたくさん。

う〜ん、すごいですね。

美味しいですね。

瞬く間に無くなりました。



池島

係留	浮き栈橋	安眠できる
水	無し	
陸電	無し	
燃料	たぶん可能？	スタンド有、栈橋まで車が付けられる
トイレ	フェリー待合所	
風呂	公衆浴場	16時から営業、日曜休み
飲料水	購入可能	日曜休み
食料品	購入可能	
酒	購入可能	

野母崎

係留	浮き栈橋	安眠できる
	健康村栈橋	(アイランド号栈橋) 漁港、健康村、市、県に連絡すると
		NO。どうしても気になる方はアイランド号に出航の有無
		をお尋ねになればと思います。
水	無し	
陸電	無し	
燃料	たぶん可能？	スタンド有、栈橋まで車が付けられる
トイレ	50m	公衆トイレ、和式
風呂	公衆浴場	温泉、400円、2km
		バスと健康村送迎バスの乗り継ぎで行ける。
飲料水	購入可能	コンビニ
食料品	購入可能	コンビニ
酒	購入可能	コンビニ

＊漁協栈橋のすぐ前にある朝市がお勧め！

調理もしてくれます。(1匹100円)

ただし、1時間で売り切れます。

＊鮮魚センターは4km、バスがあります。

2013年5月 12日(日曜日)

天候 晴天
風 北西 1～2
波 0m
目的地 天草YC
距離 56.2NM



計画では今日は仲間とイルカウォッチングクルーズの予定なのに、皆忙しく帰っていつてしまうことが昨日分かり、急遽大幅な予定変更。1日間浮いてしまったため野母崎から牛深港へ向かう計画を本渡港近く通称矢崎港にある天草ヨットクラブさんを訪問することに決定。

5時50分に野母崎出航、今日も風がありません、また機走。期待したイルカの出迎えも無く矢崎港沖へ。この矢崎港進入を少しでも間違えるとすぐにオンザサンドになるとかで、天草ヨットクラブの方との連絡では沖まで迎えのヨットを出すとのことだったのに・・・??ヨットの陰すらありません。電話すると堤防の先端に立ち案内するので従ってくださいとのこと。見ると堤防の突端に人影が。(泊地情報、写真右下、赤丸のそこ、進入角度をすこしでも間違えるとアウト!)

11時10分無事入港、クラブの栈橋へ係留。この浮栈橋は天草YCの方々が自力で建造されたとか、絶句です。



泊地情報

買い物はコンビニが500m圏内、バスで10分（本渡市）サンリブがあります。本渡温泉は無くなっていますが。ホテルに温泉があり入湯可能600円。
入港は必ずYCに連絡指示を仰がないと危険です。水は桟橋に来ています。陸電なし。
トイレはクラブハウス裏にあります。(洋式)



天草ヨットクラブ 棧橋

クラブの方々と挨拶を交わし、とりあえず町中を勝手気ままに散策。

14時から天草ヨットクラブの方々と酒盛り開始。なんと気がつけば二日酔いでベットの上、記憶はまったく無し。レディーにお伺いすると21時まで飲んでいたとか！！

2013年5月 13日(月曜日)

天候	晴天
風	北東 2
波	0m
目的地	牛深港
距離	26.7NM

今日のメインはなんと言っても本渡瀬戸大橋の昇降橋の通過です。その前にサンドオン回避のため満潮を待って9:00天草YCを出航。



10:00 本渡港に入港。
本渡瀬戸大橋を、昇降橋を通過するため潮待ちです。

カナロアノマストが17m、両橋ともに橋桁17m。無論表記は大潮満潮時とは分かっていますが慎重にならざるを得ません。



潮は中潮、最干潮は16時30分、16時30分出航では牛深入港が日没後となるため、最干潮の潮位と50センチの差しかない14時30分に本渡港出航を決定。

いざ出航、橋はもう目の前、本渡瀬戸大橋が目に入るややその向うにある昇降橋がKANALOA対応で上り始める。



昇降橋の両端の渋滞は気になるものの、こちらはマストが当るかどうかの瀬戸際。超微速前進、瞬きもせずマストトップを見つめる面々。
通るか！！滑るように通過、止まっていた血液が体を流れるような安堵感。



誰とも無く笑顔に！今度は昇降橋、もはやそれほどの緊張も無く船足を速め通過。

終始、大原さんだけは平然とKANALOAメンバーを観察されていました。



本渡瀬戸を通過、横島を右に見ながら変針、4キロほども続くマグロの養殖遺跡に沿い牛深へ。

泊地情報 （本渡港）

係留はフェリーターミナルに仮係留すると係員が来て係留場所を指示してくれます。我々は海上タクシー棧橋でした。値段はトン当たり5円？30円ほど支払いました。

買い物はサンリブへ、歩いて10分。トイレは洋式有
陸電無、水、燃料有



本渡港のフェリー桟橋



係留した桟橋が左後 1日5円／1ton



本渡瀬戸



天草YC(矢崎港)

係留	浮き桟橋	安眠できる
水	OK	
陸電	無し	
燃料	たぶん可能	スタンド有 燃料搬入は大変200m徒歩となる
トイレ	クラブハウス裏	洋式
風呂	ホテル温泉	歩いて15分、600円
飲料水	購入可能	コンビニかバスでサンリブ10分
食料品	購入可能	
酒	購入可能	

本渡港

係留	浮き桟橋	海上タクシー桟橋、引き波うるさそう
水	無し	緊急時は何とかなりそう
陸電	無し	
燃料	たぶん可能	スタンド有、桟橋まで車が付けられる
トイレ	フェリー待合所	洋式、和式、徒歩100m
風呂	ホテル温泉	
飲料水	購入可能	サンリブ歩いて10分
食料品	購入可能	
酒	購入可能	